

エイベックスが海外大手 AEG Presents と提携し世界を目指す！

新業態「AEGX」設立

エイベックス・エンタテインメント株式会社は、世界規模でライブビジネスのプロモーションを行うグローバルエンタテインメント企業 AEG Presents 社と業務提携を結び、4月1日より新たに「AEGX」を設立。エイベックス・エンタテインメント株式会社取締役兼ライブ事業本部長の山中昭人氏と、AEG Presents Asia Pacific のアダム・ウィルクス社長に「AEGX」設立の背景と、目指すところを聞いた。

日本から世界市場で活躍するアーティストを

AEGX 設立により、世界展開を本格的に目指すこととなった日本の代表的エンタテインメント企業エイベックス。一方、今回提携する AEG Presents は、これまでマイケル・ジャクソンのコンサート「This Is It」をはじめ、テイラー・スウィフト、ジャスティン・ビーバー、ローリング・ストーンズ、エルトン・ジョン、BTS、セリーヌ・ディオーン、エド・シーランといったビッグアーティストのツアーを手掛けてきた、世界的なエンターテインメント・プレゼンターだ。

アダム・ウィルクス氏（以下：ウィルクス）「AEG は日本でも数々のコンサートを行ってきました。私はこれまで世界有数のビッグアーティストを日本に呼ぶ機会に恵まれてきて、日本での素晴らしい思い出は数限りなくあります。近年では、2014年にザ・ローリング・ストーンズを招へいし、東京ドームで3公演、来日30周年記念のコンサートを開催しました。また機会があれば、ぜひ彼らを日本に連れて行きたいですね。日本のファンはとても熱狂的な方が多い。ミュージシャンたちにとっても私たち音楽業界の人間にとっても、日本は行きたい国ナンバー1。日本に行くことは、関係者全員が大きな楽しみとなっているんです」

—「AEGX」設立の意図と背景を聞かせてください。

山中昭人氏（以下：山中）「日本から世界を目指すアーティスト、そして日本でも活躍したい世界のアーティストへ、創造性と機会を提供していくことが AEGX の主な事業内容となります。AEGX を通じてエイベックスは、よりグローバルな展開を構築していきます。その背景には、より世界的な展開が必要になっている音楽ビジネスの変化があります。

日本の音楽市場はとても大きく、コンサ

ートなどのライブエンターテインメント市場だけでも2018年度の数字で6000億円ほどです。市場が大きいと、日本のアーティストは積極的に海外に進出しなくても国内でビジネスが成り立っていました。結果的に、海外のビジネス手法やノウハウを取り入れる必要もなく、良い意味でも悪い意味でも、日本独自の進化を遂げてきたと感じています。

現在、セールスのかたちが CD からストリーミングに変わりつつあり、K-POP が欧米でメジャーなコンテンツとなるなど、世界の音楽ビジネスの状況は大きく変化し、それに伴いアーティストやプロダクションの意識も大きく変わってきていると思います。今回の新型コロナウイルスの影響により、そういった変化は大きく加速して行くと思います。コロナ後には、積極的に海外に出ていく日本のアーティストが増え、私たちはエンターテインメント企業として、世界を目指すアーティストやプロダクションに提案やサポートをしっかりできる組織にならなければならないと思っています。

独自に進化した日本の音楽業界を知るエイベックスと、世界的なビジネスモデルを熟知している AEG が提携することで、より力強く世界的な展開が可能になる。AEGX としては、それぞれの強みを上手く生かしながら、積極的に日本のアーティストを海外に紹介し、世界に通じるビジネスモデルを日本に取り入れていきたいと思っています」

—AEG Presents がエイベックスと業務提携した背景を聞かせてください。

ウィルクス「私たちは、今回の提携を非常にうれしく思っています。私たちとエイベックスには、共通する理念があると感じています。1つには、アーティストファーストという観点を持っていて、



アダム・ウィルクス…2011年 AEG 入社、AEG Presents Asia Pacific を立ち上げ、テイラー・スウィフト、ローリング・ストーンズなど多数のアーティストのツアーや、中国の NBA Global Games など成功させる。2016年 AEG Asia 社長兼 CEO に就任。また AEG Presents Asia Pacific の社長も兼任。



山中昭人…エイベックス・エンタテインメント株式会社取締役、ライブ事業本部長。2006年 エイベックス・ライブ・クリエイティブ株式会社 制作事業部 入社

の開発に重きを置いているという点です。アーティストの目線に立ってビジネスを展開していく。そこに視点があるという会社は、実はこの業界ではとても珍しいのです。2つ目に、私は“会社のDNA”と呼んでいますが、会社のマインドとして起業家精神を持っていること。さらにいえば、両社とも業界の中ではまだ若い会社といえること。社員の考え方などでも、古いものにとらわれない考え方ができる組織である点も共通していると思います。変化が激しい現在の状況を生き抜くには、不可欠なものをお互い持っているといえるのです。

実は、AEG が日本への参入を検討し始めたのは10年ほど前になります。当時から私たちは東京や大阪といった日本の代表的都市でコンサートを開催しており、エイベックスとはそのころから丁寧な関係をはぐくんできました。今ではお互いの役員同士は友人といえる関係です。以前より深い信頼関係にあるエイベックスと提携できるという点においても、お互いが持ち寄り資源が生み出す可能性の大きさという点においても、素晴らしいパートナーシップが期待できると思っています」

—AEG が今回の提携により、目的としていることは。

ウィルクス「過去何十年にわたって、日本の音楽市場は世界の中でも非常に大きく魅力的な市場とされてきました。日本国内のアーティストにとってもそうですし、海外アーティストにとっても大変大きな市場なのです。ですがここ近年、日本だけでなく世界のエンターテインメント業界で変革が起きており、世界的に、よりグローバルな展開が求められるようになっていくのです。その結果、数多くのビッグアーティストが、私たち AEG を含め国際的なエンタメ企業と複数年にわたって契約を結ぶということがトレンドになっています。このような状況の中、AEG としても優位性を保つためにいろいろなローカルパートナーと提携し、しっかりした土台作りをしていかなければならないのです。日本のアーティストにとっても国外での可能性を追求し、より多くのファンを獲得すべきタイミングが来ていると思います。私は、K-POP にできて日本のアーティストにできないとは思いません。AEGX を通じて、日本から世界へ向けて活動するアーティストの開発にも力を入れていきたいと思っています」

—4月から始動する AEGX。今後の展開

は。

山中「今は、コロナ禍でコンサートの開催にも規制がかかっており、海外アーティストを招へいするにも入国規制があるなど、具体的な活動は難しい状況です。ただ、ワクチンができてコロナ収束の希望も出てきたということで、そこに向けて準備を進めています。海外のアーティストを日本に招へいすることはもちろん、AEG Presents との協力で日本のアーティストのワールドツアーを企画したり、日本のアーティストの海外挑戦への足がかりをどんどん作っていくつもりです。グローバルな活動をアーティストに提案できる組織になるということを目指していきます。コロナ以前に、エド・シーランのコンサートで ONE OK ROCK さんをゲストアーティストに呼ぶという企画を行った事がありました。その後、今度は ONE OK ROCK さんのコンサートに来日していたエドが出演するなど、点で終わらない交流が生まれました。もちろんアーティスト同士の共感にもよりますが、あくまでもこちらのエゴにならないようにアーティストやファンが望む形で、このような国際的なつながりの場をもっと作っていかれたらと思います」

ウィルクス「あれはいい事例でしたね。あのコラボを機に、お互いにお互いのファンをつけたという認知度もさらに上がりましたし、その後も一緒に曲作りをしたり新たな展開も生まれました。相互に非常にメリットのあるコラボだったと思います。もっと、日本人アーティストと海外アーティストとの面白いコラボはできると思いますし、そこに AEG のノウハウやリソースを生かせると思います。

もちろん私たちのネットワークを使い、フェスのブッキングや海外で日本人アーティストのツアーを企画することもできます。その一方で、日本における洋楽アーティストのコンサートでは、かつては国内複数都市で行われていたものが近年では東京近郊に集中したり、できても東京大阪の2都市での開催となるケースが増えているので、そこをエイベックスの協力のもと、再び複数都市でのツアーができないかと期待しています。

今、世界中の音楽ファンが音楽の復活を願っています。早くコロナが収束し、自分たちの好きなアーティストが再びステージの上でパフォーマンスする姿を見たいと思っています。AEGX の一員として、きっとその日は近いとお伝えしたいと思います」(WEBにて全文掲載)



AEG は今最も旬なアーティストの1人エド・シーラン(写真)をはじめさまざまなビッグアーティストのコンサートを手がけてきた ©Zakary Walters

AEGX 事業概要 エイベックス・エンタテインメント株式会社と AEG の音楽興行部門である AEG Presents が共同パートナーシップを締結し設立。エイベックス・エンタテインメントと AEG Presents のそれぞれの強みを活かし、アーティストの育成とライブ・エンターテインメントの両方において、ユニークな国際的な機会を創出していく。AEGX は、エイベックスがそのアーティストとブランドの知名度を世界中のオーディエンスに広めることができるように、AEG Presents の世界各国の会場、フェスティバルやグローバルツアーパートナーシップのポートフォリオの利用を提供していく。